

月中旬の暴風に被害をうけ、小作農民は愈々凶作キキンの死の淵に打ちのめされることになり、小作米減免闘争はモトヨリ、土地引上を中心に争議は激化し、政治闘争は全国的に勇取に根強く戦かはれることになるであらう

二、労働者農民の生活が苦しくなりそのモガキが大きくなつて來りや資本家地主の政府やその手先は滿洲國の獨立に依つて農業土木事業で軍氣がヨクなると教へて労働者農民を幻想の悪夢に酔はせ一万一九三五、六年の國際關係の危機につれて日本は非常時であると宣傳して労働者農民十般木米を排外主義侵略戦争熱にオドーアセ消防組、青年團、青年訓練、防護團等は舉國一致の榮名の下に資本家地主の意のままに動かされ労働者農民の闘争妨害に役立つてゐる。見よ！東京市電の従業員一萬二千人の賃

銀値下反對闘争に對し、従業員の結束をフチコワすために、資本家の手先となつて働らくのは在郷軍人、青年訓練、青年團等であるこつした反動の組織が強められてゆくと同時に一方小作調停法のテツテイ化、小作法の制定米穀統制法、農村の工業化等小作農民のギマン懷柔政策に努め、また出版法、治安維持法の改悪によつて、言論出版、集會結社に關する取締を嚴重にして、労働者農民の闘争を壓殺し永久に奴隷の生活を送らせんとしてゐるのである

ホ、資本家地主共の忠實な番犬としての形を變へたファツシヨ運動は五、一五事件をキツカケに、農村の中農層に喰ひこんできた。愛郷塾、自治農民協會等も勢力が振はず全農總本部派の顧問辯護士であつた吉田賢一は皇國農民